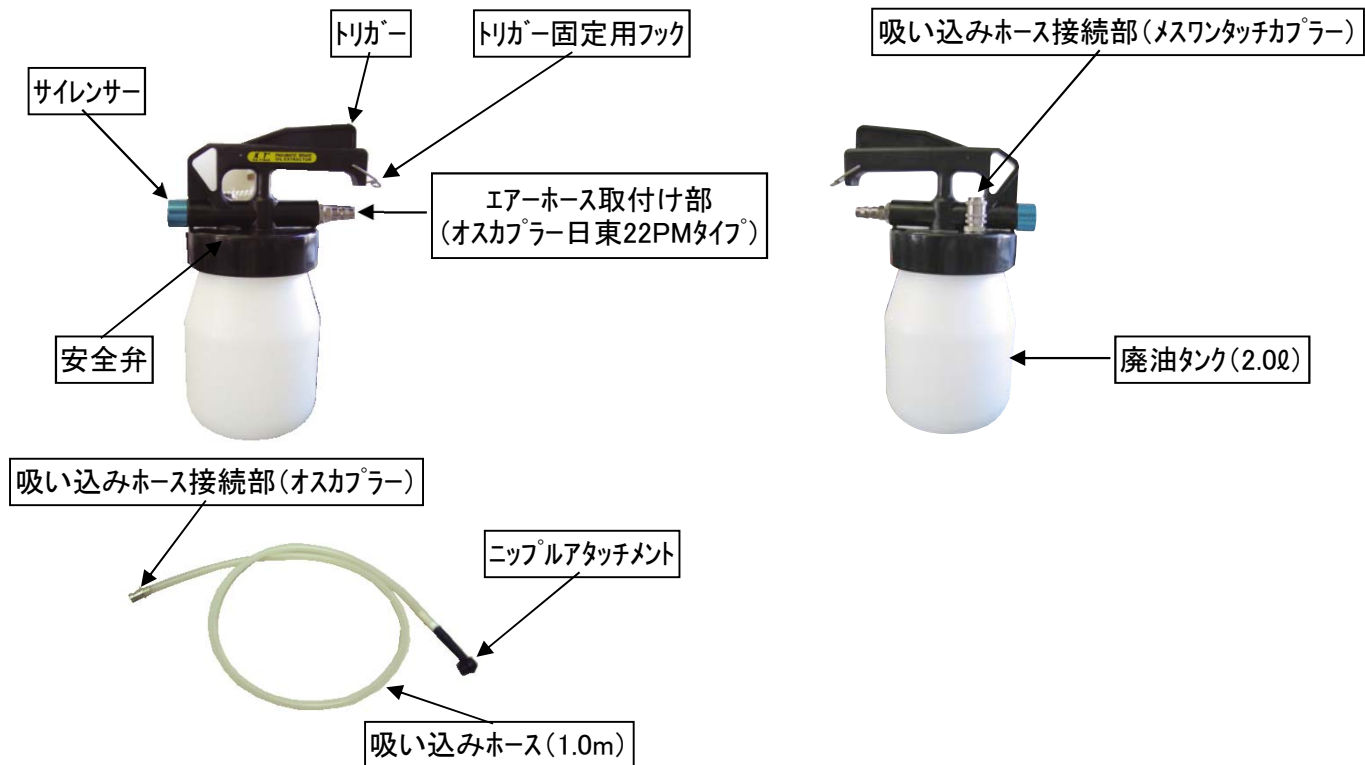


KA7194N 負圧式ブレーキフリーダーセット取扱説明書(負圧式ブレーキフリーダー編)

ご使用前に

- ※ 事故防止の為、必ずこの取扱説明書をよく読みご理解の上、正しく安全にお使い下さい。
- ※ 本製品の目的外使用および改造は絶対にしないで下さい。
- ※ 高温になる場所での保管は、ゴムの緩みや樹脂の変形の原因となりますので注意して下さい。
- ※ 子供の手の届くところに置かないで下さい。
- ※ 投げたり、落としたりしないで下さい。
- ※ エア圧は必ず**500～1200Kpaの範囲内**でご使用下さい。

各部名称



作業前の注意事項

- ※ 廃油排出口が確実に閉まっているか確認して下さい。確実に閉まっていないと、二次エアを吸ってしまい負圧が発生しなくなりブレーキフルードが吸引されません。
- ※ 吸い込みホースのジョイント部から二次エアが吸われていないか確認して下さい。二次エアが吸われていると、負圧が発生しなくなりブレーキフルードが吸引されません。
- ※ 吸い込みホース接続部(メスカプラー)はワンタッチカプラーになっています。吸い込みホース(オスカプラー)を接続時は**メスカプラーの外のリングを引き下げながらの接続は絶対にしないで下さい。**カプラーの接続に不具合が発生し二次エアが吸われ、負圧が発生しなくなりブレーキフルードが吸引されません。
- ※ 車種によっては吸引しにくかったり、吸引出来ない事もあります。吸引しにくい車種の場合は、一度ブレーキペダルをゆっくり踏んで吸引のフォローをして下さい。
- ※ マスターシリンダーのリザーバータンクには、ブレーキフルードを常に満たしておいて下さい。
- ※ 吸い込みホース、車体接続部etcの樹脂、ゴム類は消耗品です。亀裂、ひび割れetcが確認された時には必ず交換をして下さい。

KA7194N 負圧式ブレーキフリーダーセット取扱説明書(負圧式ブレーキフリーダー編)

エア抜き作業

- 1 吸い込みホースのオスカプラーを本体のメスカプラーに接続して下さい。
※ メスカプラーはワンタッチカプラーになっています。オスカプラーを接続時は
メスカプラーの外のリングを引き下げながらの接続は絶対にしないで下さい。
二次エアが吸われ、負圧が発生しなくなりブレーキフルードが吸引されません。
- 2 吸い込みホース先端のニップルアタッチメントを、ブレーキキャリパーのニップルに接続して下さい。
- 3 エアホース取付け部にエアコンプレッサーからのホースを接続して下さい。(エア圧500Kpa～1200Kpa)
- 4 トリガーを握ると吸い込みホース先端のニップルアタッチメントに負圧が発生します。
必要に応じてトリガー固定用フックを使用して、トリガーをロックして使用して下さい。
- 5 ブレーキキャリパーのニップルを1/8～1回転ほど開け、ブレーキフルードの抜き取りを開始して下さい。
※ ニップルを開け過ぎるとニップルネジ部よりエアが吸われ、エア抜き作業が正常に行われません。
- 6 エア抜き作業が終了しましたら、ブレーキキャリパーのニップルを閉め、トリガーを開放して下さい。
- 7 作業完了後は、必ずフットブレーキを踏んで安全確認をして下さい。
- 8 廃油タンクを外し廃油を捨てて下さい。
※ 廃油は正しい処理方法を行って下さい。

トラブルシューティング

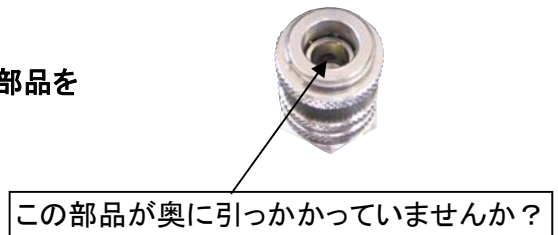
『ブレーキフルードが吸引されない』

【原因 1】

吸い込みホース接続部のメスカプラーの部品が奥に引っかかっているため、
カプラー部より二次エアが吸われ、負圧が発生しなくなりブレーキフルードが吸引されない。

【対処法】

廃油タンクを外し、吸い込みホース接続部のメスカプラーの裏側から部品を
ドライバー等で軽くたたき、部品の引っかかりを直して下さい。
右の写真の状態がメスカプラーの正常な状態です。



【原因 2】

二次エアが吸われていないか？

【対処法】

ブレーキキャリパーのニップルの開放量の確認をして下さい。
廃油排出口のキャップがちゃんと閉まっているか確認して下さい。
吸い込みホースの各部接続部にガタが無い確認して下さい。

【原因 3】

車体側のブレーキラインの問題

【対処法】

車種によっては吸引しにくかったり、吸引出来ない事もあります。
吸引しにくい車種の場合は、一度ブレーキペダルをゆっくり踏んで吸引のフォローをして下さい。

KA7194N 負圧式ブレーキブリーダーセット取扱説明書(ブレーキブリーダー編)

ご使用前に

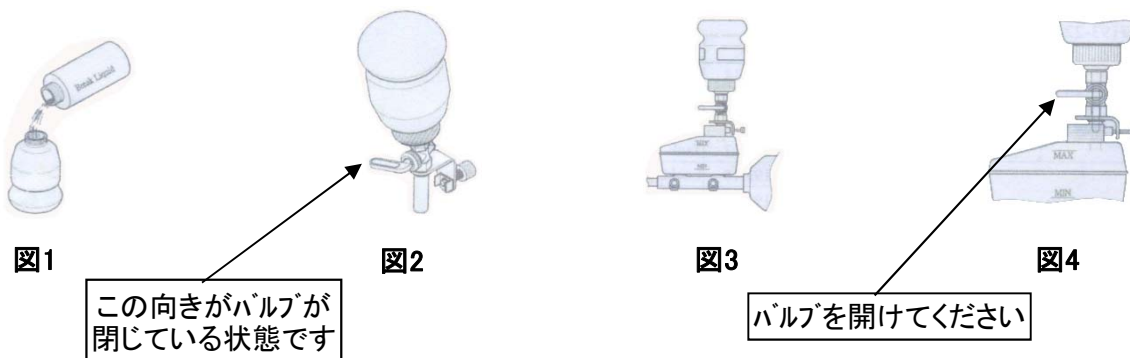
- ※ 事故防止の為、必ずこの取扱説明書をよく読みご理解の上、正しく安全にお使い下さい。
- ※ 本製品の目的外使用および改造は絶対にしないで下さい。
- ※ 高温になる場所での保管は、ゴムの緩みや樹脂の変形の原因となりますので注意して下さい。
- ※ 子供の手の届くところに置かないで下さい。
- ※ 投げたり、落としたりしないで下さい。

各部名称



使用方法

- 1 新油タンクにブレーキフルードを入れて下さい。(図1参照)
- 2 開閉バルブが閉じている事を確認して下さい。(図2参照)
 - ※ 開閉バルブが開いていると、ブレーキフルードがこぼれてしまうので注意して下さい。
- 3 ブレーキブリーダーをマスターシリンダーに固定して下さい。(図3参照)
 - ※ 確実に固定されているか確認して下さい。
- 4 開閉バルブを開いて下さい。(図4参照)



作業上の注意

- ※ エアー抜き作業、ブレーキフルード交換作業中は、マスターシリンダー内のブレーキフルードが空にならないように、常に注意して下さい。